



**Hinemos クラウド管理オプション
Ver2.0 Standard for Azure**

リリースノート 第1版

目次

1	はじめに	3
1.1	ライセンス	3
2	リリースノート	3
2.1	ver 2.0.5 for Azure での機能改善・不具合修正	3
2.1.1	機能追加	3
2.1.2	機能改善	3
2.1.3	不具合改修	3

1 はじめに

Hinemos クラウド管理オプションとは、さまざまなプライベートクラウド/パブリッククラウドサービスにより構成された環境を、Hinemosにて効率良く運用するための機能オプションです。

1.1 ライセンス

Hinemos クラウド管理オプションは **GNU General Public License** となります。各種ドキュメントは **GNU General Public License** ではありません。各種ドキュメントの無断複製・無断転載・無断再配布を禁止します。

2 リリースノート

2.1 ver 2.0.5 for Azure での機能改善・不具合修正

2.1.1 機能追加

- ・ #2814 【CloudStd】自動検知するノードのノードプロパティの指定
自動検知時に作成されるノードのノードプロパティのうち、いくつかの項目について、ユーザが設定ファイルで指定した値を格納可能できるようにした。
- ・ #2839 【AzureStd】タグを使った仮想マシンの自動スコープ割当て
Azureの仮想マシンの情報を取得した際に仮想マシンの属性情報から割当てスコープ情報を取得し、仮想マシン情報取得時に対応するノードの任意のスコープ割当てを可能にした。

2.1.2 機能改善

- ・ #2726 【CloudStd】自動検知時に割当て対象のスコープが無かった場合にエラーログが出力される
hinemosAssignScopeldによる割り当て先スコープが無かった場合に、自動検知が実行されるたびにマネージャのログに例外が出力されていたため、その出力を抑制した。

2.1.3 不具合改修

- ・ #2738 【CloudStd】クラウド[テンプレート作成・変更]ダイアログに関するいくつかの不具合
クラウド[テンプレート作成・変更]ダイアログで、一度でもデプロイ時・起動時・停止時のジョブを選択してしまうとそれを解除することができない問題を修正した。
また、Azure版においてテンプレート変更時に登録時のイメージIDが表示されない問題を修正した。
- ・ #2777 【CloudStd】メニューからクラウドサービスを開こうとすると文字化けしている
メニューから「ビュー」>「クラウド」と選択した場合に、「クラウド[サービス]」の表示が正しくされていなかった問題を修正した。
- ・ #2800 【CloudStd】IPアドレスの自動更新の無効化が出来ない
インスタンスのIP更新検知のプロパティ (hinemos.cloud.autoupdate.node) を無効化しても、実際にはIP更新検知が行われていた問題を修正した。

Hinemos クラウド管理オプション ver2.0 Standard for Azure リリースノート

非売品

- 禁無断複製
- 禁無断転載
- 禁無断再配布

Hinemosは（株）NTTデータの登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

なお、本文中にはTM、Rマークは表記しておりません。